投信フォーラム 2013 in 佐賀

主催：投資信託協会、佐賀新聞社、全国地方新聞社連合会
後援：金融広報中央委員会、全国銀行協会、日本証券業協会、日本取引所グループ（東京証券取引所、大阪証券取引所）など

あなたのライフプランに投資信託　考えてみませんか？

投資信託についての基礎知識を学ぶ「投信フォーラム2013 in 佐賀」が7月27日、佐賀市のマリトピアで開かれました。第1部では、特別講演としてバルセロナ五輪柔道金メダリストの古賀稔彦さん＝みやき町出身＝が「夢、目標にチャレンジ～挑戦することの大切さ～」と題して講演。第2部のセミナーでは、ファイナンシャルプランナーの馬養雅子さんが投資信託の特徴や活用法などを話し、大和証券投資信託委託株式会社商品企画部担当部長の藤原正史さんを交えた対談で少額投資非課税制度（愛称・ニーサ）について紹介しました。資産運用に関心を持つ約290人の参加者が熱心に耳を傾けました。

◆主催者あいさつ

資産形成のきっかけに

白川真・一般社団法人投資信託協会会長

資産形成は豊かな人生を築く上で大切なことであり、私たち一人一人が積極的に資産形成することが、日本や世界の経済に活気をもたらすことにもつながります。投資信託と来年1月から始まる少額投資非課税制度（ＮＩＳＡ＝ニーサ）について、皆さんに仕組みや特長を知っていただき、資産形成のきっかけになれば幸いです。

夢・目標にチャレンジ

特別講演

バルセロナ五輪柔道金メダリスト
古賀稔彦 氏

1988年開催のソウルオリンピックで、私は金メダル候補として注目されました。常に人に囲まれ、ソウルへ向かう際には成田空港に多くの人が見送りに来てくれました。しかし結果は3回戦敗退。マスコミにたたかれ、日本に戻ったとき空港には誰も待っていませんでした。私は人間不信に陥り、引きこもりになってしまったのです。

ある日、テレビのソウルオリンピック総集編で自分の負け試合を見ました。負けた瞬間、映し出されたのは観客席にいる私の両親。「皆さん、すみません」と周囲の人に何度も頭を下げていました。両親の姿を見て、ショックで恥ずかしくなり、「闘ってきた」と思っていましたが、実は、闘っていたのは自分だけではなかったのです。家族や仲間、日本中の人が応援して、自分以上に喜んだり、悲しんだりしている人がいることに気づきました。「いつまでも引きこもって、悲劇の主人公気取りではだめだ。今度はみんなが喜んでいる姿を見たい」と奮い立ちました。

挑戦しなければ喜びなし

それ以後、みんなと一緒に闘っているという安心感を持って勝負に臨むことができたのです。4年後のバルセロナオリンピックでは金メダルを取ることができました。

天才とは天が与えた才能で、誰もが何かしら持っているはずです。それを引き出すのは挑戦です。人は挑戦する前に「自分はできないだろう」と頭で考えて答えを出してしまうことがありますが、挑戦しなければ努力や苦しさ、喜びや感動を実感できません。頭で考えてあきらめるか、挑戦して努力するか。これは人生にも当てはまるのではないでしょうか。私のように自分のためだけでなく、人のためにやる挑戦は、より力を発揮して夢に一歩近づくことができると思います。

引退後、自宅に「古賀塾」という町道場を作りました。講道館柔道の創始者、嘉納治五郎先生の「精力善用・自他共栄」という言葉に習い、あいさつをする、お年寄りに席を譲るなど、当たり前のことを当たり前にできる大切さを子どもたちに伝えています。

人生の中で夢を持つことは当たり前、その夢に向かって努力することも当たり前。目の前のゴミを拾えない人は、自分の夢をつかむことはできません。私は、後輩たちの夢と向かい合い、これからも一緒に挑戦を続けていきます。

司会　立派な町道場を作られたようですね。

古賀　昔っぽいかもしれませんが、私自身は、欲しいものがあったら、お金を貯めてから手に入れたいと考えます。道場建設に当たっては、資金の半分を貯めて残りはローンで大丈夫と思えるようになってから建設しました。

司会　古賀さんご自身は資産運用をされていますか。

古賀　年齢的にも考えなければいけないと思いながら、今はローンの返済を頑張っています（笑い）。ただ最近は、道場をうまく運営していくためにも資金をいい形で運用しなければいけないと考えています。柔道家は人の役に立つことが一番の役目。一生懸命働いて、運用もしながら、後輩たちのためにお金を生かせるようになればいいですね。

企画／制作　佐賀新聞営業局

分散投資でリスク軽減

FPによる投資信託セミナー

投資信託で“草食系”の資産づくり

ファイナンシャルプランナー（CFP認定者）
馬養雅子（まがい まさこ） 氏

なぜ、資産運用が大切なのでしょうか。日本経済の変化でサラリーマンの収入が伸び悩んでいます。一方で、少子高齢化の影響で社会保険料は少しずつアップし、公的年金の水準も下がっています。来年からは消費税が段階的に引き上げられる予定です。収入は増えず支出が増えるのですから、家計はますます厳しくなっていくでしょう。

家計の状況を改善する方法は3つ考えられます。まず、収入を増やすこと。それが難しいならば、支出を減らすこと。しかし、節約にも限界があります。そのため、3つ目の方法として、資産運用があるのです。

運用リスクは予測できる

現在、日本の預貯金の金利は非常に低く、資産を増やすためには預貯金以外の金融商品を購入するしかありません。ただ、「リスクがあるのでは？」という考え方から預貯金以外の金融商品を購入したことがない人が大多数です。

この場合のリスクは「元本割れ」を指していると思われますが、本来の金融商品のリスクとは「値動きの幅の大きさ」のことです。金融商品の運用においてリスクは避けられないもので、リスクをとらなくてはリターン（収益）もありません。「ハイリスク・ハイリターン」「ローリスク・ローリターン」という言葉の通り、すべての金融商品は多かれ少なかれリスクを伴います。

しかし、運用に伴うリスクは予測可能です。それぞれの金融商品がどの程度の値動きをするか、あらかじめ知っていれば、リスクをコントロールできます。資産運用とは、リスクを恐れるばかりでなく、リスクと上手に付き合うことです。

「投資ってギャンブルでしょう？」と質問を受けたら、「ギャンブルのような“肉食系”の投資の仕方もあるが、そうでない“草食系”の投資の仕方もある」と答えています。一獲千金を狙う肉食系の投資は、いつも値動きをチェックしていなければいけません。当たれば大きくても、大きく損をする可能性もあります。失敗したときのダメージが大きいのです。

時間の分散に積立がお勧め

これに対し、草食系の投資とは、リスクをコントロールしながらじっくり資産を増やすものです。肉食系のように大もうけは狙わない、争わない、休まずコツコツとマイペース、手間は掛けずに時間をかけて資産を運用していくのです。

肉食系と草食系の投資の手法はまったく異なります。肉食系の投資が集中投資なのに対し、草食系投資は分散投資です。投資する対象を分散することで資産全体の値動きを小さくします。

また、草食系投資はいちどきに投資するのではなく、投資するタイミングを分散することで高いときにまとめて買ってしまうリスクをなくします。こうした時間の分散を自動的にやってくれるのが積立投資です。1つの金融商品を毎月一定の日に一定額買っていくもので、値動きに左右されなくて済みます。

草食系投資に適した金融商品が投資信託です。投資信託は▽幅広く分散投資ができる▽一口1万円程度から買える▽運用は専門家に任せることができる▽多くの種類の中から自分に合った商品が選べる▽外国債券など個人で購入できない金融商品に投資できる▽積立投資ができる―などのメリットがあります。

投資信託を運用しているのは運用会社です。多くの投資家から集めた資金でファンドを作り、専門家であるファンドマネジャーが株や債券、不動産などに幅広く分散投資します。運用成績はファンドマネジャーの腕次第。投資信託において運用会社が大事なのです。

ファンドの数は日本だけで約4千。「どこに」「何に」などの視点から、投資するファンドを絞り込みます。「どこに」では日本、先進国、中国など投資する地域を決め、「何に」では株や債券、不動産などの金融商品を選びます。「株と債券」など異なる商品の組み合わせも考えられます。

投資信託のリスクとリターンについて話します。基本的に株と債券では株の値動きが大きく、日本のものと海外のものでは、一般的に海外のものが大きな値動きとなります。

じっくり保有 利益再投資も

どんな投資信託を買うか。運用で大切なのはバランスのとれた資産配分です。思いつくまま、勧められるままに金融商品を買うと偏った資産配分になりがちです。まず、自分で資産運用の設計図を作ってみて、自分の資産に不足しているものを買うようにしましょう。

投資信託は分散投資することによって値動きを抑えるように作ってあります。買ったり売ったりするのではなく、じっくり保有することが基本。利益が出たときに得られる分配金を再投資することで保有口数を増やし、コツコツ資産を増やすのが理想です。

投資の目的が達成できたら、一度に全て売却するよりも、何回かに分けて売却することを勧めます。預貯金と投資信託の比率をあらかじめ決めておき、投資信託の比率が増えていたら一部を売却し、元の比率に戻すといった具合です。

運用とは、リスクと上手に付き合うこと。草食系の運用でじっくり資産を増やし、積立を上手に活用しましょう。自分で設計図を作って、資産全体のバランスを考えましょう。

バランス考え資産配分／自分なりの「設計図」を

対談

NISA 1月開始「投資信託が有効」

大和証券投資信託委託株式会社
商品企画部担当部長
藤原正史 氏

馬養　来年1月からスタートする少額投資非課税制度（NISA＝ニーサ）について教えてください。

藤原　NISAは、株式や株式投資信託で年間100万円までの投資を対象に5年間、売却益や配当、分配金が非課税となる制度です。14年から23年までの10年間実施されます。

馬養　非課税のメリットを生かすためには、どういった投資の仕方が考えられますか。

藤原　NISA向けの投資が特別にあるわけではありませんが、投資信託が有効だといわれています。「ミドルリスク・ハイリターン」「ローリスク・ミドルリターン」の商品を探すことがポイント。投資の経験や自分のライフプランを考慮し、NISAをうまく利用してほしいですね。

なお、非課税の適用はあくまでNISA専用口座内での投資に限られます。損失が出た場合、他の特定口座や一般口座の譲渡益などと損益通算ができない点は注意が必要です。また、売却はいつでも可能ですが、売却した分の非課税枠は再利用できません。

馬養　ところで、投資信託にとって大切なのは運用会社です。よい運用会社、ファンドを探すコツはありますか？

藤原　各運用会社には特徴がありますその会社がどういう考え方に基づいて運用しているのか、先の見通しをどう描いているのかなどを見て判断してください。

馬養　これから資産運用を始めようという人にアドバイスを。

藤原　資産運用に当たり重要なのは情報収集です。そして、その情報をいかに取捨選択していくかファイナンシャルプランナーなど専門家のアドバイスを受けて熟考し、資産運用を行ってください。

あなたのライフプランに「投資信託」、考えてみませんか？

時間を有効活用してリスクを小さく。
【資産の分散】【長期の保有】【時間の分散】
投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。

ガイドブックプレゼント（各1冊セット）　無料

（2013年版）

（2013年版）

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。
ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会SG係
※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

携帯電話はこちら

投資信託協会ホームページで

［投信総合検索ライブラリー］

新連載　「著名人が語る・お金のはなし」が始まりました。

新機能　投信総合検索ライブラリー
・交付目論見書の閲覧
・基準価額の検索やリターン計算
・取扱販売会社や販売会社別手数料の検索
など

一般社団法人 投資信託協会　www.toushin.or.jp　投資信託協会　検索